

5万分の1地質図幅「豊橋」地域の秩父帯チャートから産する三畳紀放散虫化石

堀 常東¹

Nobuharu Hori (2004) Triassic radiolarians from chert of the Chichibu Belt in the Toyohashi district, Aichi Prefecture, Southwest Japan. *Bull. Geol. Surv. Japan*, vol. 55(9/10), p.303 - 334, 4 figs., 2 tables., 10 plates.

Abstract: Triassic radiolarians were detected from 68 samples of chert of the Chichibu Belt in Toyohashi district, Aichi Prefecture, Southwest Japan. 55 species belonging to 33 genera are identified, and are shown in plates with undescribed morphotypes as a database for further study. Based on Triassic radiolarian biostratigraphy presented by Sugiyama (1997), the geologic age of the examined chert samples ranges from late Early Triassic to Late Triassic.

Keywords: Triassic, radiolaria, chert, Chichibu Belt, Toyohashi district, Aichi Prefecture, Southwest Japan

1. はじめに

5万分の1地質図幅「豊橋」地域（以下、豊橋地域と呼ぶ）は愛知県の南東部に位置し、静岡県の西縁部を含む。豊橋地域に分布する地層群の大部分は第四系であり、基盤を構成する三波川帯の変成岩類や秩父帯の付加コンプレックスの分布は東部（豊橋東部地域）及び南西部（田原地域）に限られる（Fig. 1）。

豊橋地域の秩父帯からは、これまでにいくつか三畳紀放散虫化石の产出報告があるが（池田, 1990; 家田・杉山, 1998; 丹羽・大塚, 2001），三畳紀に関しては、Sugiyama (1997) の *Triassocampe coronata* 帯 - *Triassocampe deweveri* 帯 (TR2B 帯 - TR2C 帯: Anisian) の放散虫化石の产出しか知られていない。筆

者は2003年度から豊橋地域の秩父帯付加コンプレックスの調査・研究を行っているが、その過程で地質年代の決定を目的として多くの岩石試料から放散虫化石の抽出を試みた。その結果、ペルム紀からジュラ紀に至る多量の放散虫化石が得られ、第一報としてペルム紀の放散虫化石について報告した（堀, 2004）。ここでは、その続報として、チャートから得られた三畳紀の放散虫化石について、各試料から識別された形態種をすべて図示し、その放散虫群集の示す年代を議論するとともに、群集構成の詳細を報告する。

2. 放散虫化石及び年代

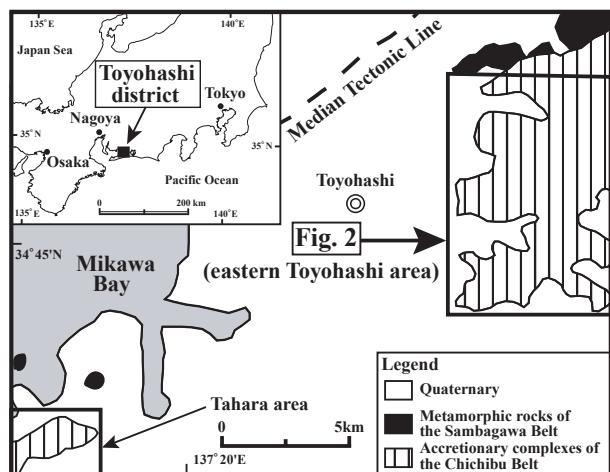
豊橋地域の68地点のチャートから三畳紀放散虫化石を产出した。三畳紀放散虫化石の产出地点を Fig. 2 及び Fig. 3 (豊橋東部地域) に、同定された放散虫化石の一覧を Table 1 及び Table 2 にそれぞれ示す。以下に、採取地点ごとの放散虫群集とその指示する年代について記述する。なお、得られた放散虫化石の指示年代、化石帶 (TR0 帯 - TR8D 帯) 及び他研究者の化石帶との対比に関しては主として Sugiyama (1997) に従った。

(1) Loc. 31 (試料030423-14)

地点：豊橋市嵩山町から旧本坂トンネルに至る旧国道 362 号線沿い。（Fig. 2）

群集構成： *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp. aff. *T. deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Muelleritortis cochleata* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Triassocampe* ? sp., *Tritortis* ? sp., *Pseudostylosphaera* sp. (Plate 1)

年代：本試料からは *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Muelleritortis cochleata*



第1図 豊橋地域の地質概略図。

Fig. 1 Index map showing the geologic outline of the Toyohashi district, Aichi Prefecture, Southwest Japan.

¹地質情報研究部門 (Institute of Geology and Geoinformation, GSJ)

(Nakaseko et Nishimura)が識別された。両種はNakaseko and Nishimura (1979)によりそれぞれ *Dictyomitrella deweveri* 及び *Emiluvia ? cochleata* として記載された種である。前者はTR2C帯 (Anisian上部) - TR4A帯下部 (Ladinian中部) のレンジを持ち、後者はTR4A帯 - TR4B帯 (Carnian下部) のレンジを持つ。したがって、本群集の示す年代は Ladinian中期であると考えられる (Fig. 4)。

(2) Loc. 32(試料030518-1r)

地点：旧本坂トンネル静岡県側出口付近から北に延びる林道沿い。家田・杉山(1998)の露頭Cのチャート層。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Anisicyrtis italica* Kozur et Mostler, *Pseudostylosphaera tenuis* (Nakaseko et Nishimura), *Pentactinocarpus* sp., *Pseudostylosphaera ? sp.* (Plate 1)

年代：*Anisicyrtis italica* Kozur et Mostler は Kozur and Mostler (1994)により南アルプスの中部三畳系から報告・記載され、その産出は Ladinian 下部の *Spongasilicarmiger italicus* 帯 (Kozur and Mostler, 1994)で認められている。*Spongasilicarmiger italicus* 帯はTR2C帯 - TR3B帯下部 (Ladinian下部) に相当する。*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura) は前述のように TR2C 帯 - TR4A 帯下部のレンジを持つ。また、*Pseudostylosphaera tenuis* (Nakaseko et Nishimura)はTR2B帯から産出が認められるが、詳細な層序分布は不明である。したがって、本群集の示す年代は Anisian中期 - Ladinian前期であると考えられる (Fig. 4)。

(3) Loc. 33(試料040224-2)

地点：石巻山東方の電波塔の保守用道路沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe* sp. (Plate 1)

年代：*Triassocampe* 属は Dumitrica et al. (1980)により提唱され、そのレンジは中部三畳系から上部三畳系とされた。本試料からは保存不良ながら *Triassocampe* 属に属する個体が得られており、その年代は中期三畳紀から後期三畳紀であると思われるが、詳細な年代は議論できない。

(4) Loc. 34(試料040224-3)

地点：石巻山東方の電波塔の保守用道路沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Capnodoce* sp. (Plate 1)

年代：本試料からは保存不良ながら *Capnodoce* 属に属する放散虫が得られた。*Capnodoce* 属は De Wever et al. (1979)により提唱された。Yoshida (1986)によれば *Capnodoce* 属は Norian 下部の *Capnodoce* 帯 (Yoshida, 1986) にその産出が限られる。Yoshida

(1986)の *Capnodoce* 帯は TR6A 帯 (Carnian最上部) - TR7 帯 (Norian中部) に対比される。したがって、本試料の年代は Carnian 末 - Norian 中期であると考えられる (Fig. 4)。

(5) Loc. 35(試料031204-2)

地点：石巻山東方の電波塔の保守用道路沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp. aff. *T. deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Silicarmiger latus* Kozur et Mostler, *Muelleritortis cochleata* (Nakaseko et Nishimura), *Tritortis kretaensis* (Kozur et Krahl), *Pseudostylosphaera goestlingensis* (Kozur et Mostler), *Triassocampe* sp., *Muelleritortis* sp., *Pseudostylosphaera* sp. (Plate 1)

年代：上述の試料 030421-14 (Loc. 31) 同様、本試料にも Ladinian 中部において共存する *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Muelleritortis cochleata* (Nakaseko et Nishimura) が認められる。更に本試料からは *Silicarmiger latus* Kozur et Mostler, *Tritortis kretaensis* (Kozur et Krahl) 及び *Pseudostylosphaera goestlingensis* (Kozur et Mostler) が識別された。*S. latus* は Kozur and Mostler (1994) により記載され、そのレンジは TR3B 帯上部 (Ladinian 下部) - TR4B 帯下部 (Ladinian 上部) である。*T. kretaensis* は Kozur and Krahl (1984) により *Sarla ? kretaensis* として記載され、そのレンジは TR4A 帯上部 (Ladinian 中部) - TR5A 帯下部 (Carnian 下部) である。また、*P. goestlingensis* は Kozur and Mostler (1979) により *Stylosphaera ? goestlingensis* として記載され、そのレンジは TR4A 帯 - TR4B 帯である。したがって、本群集の示す年代は Ladinian 中期である (Fig. 4)。

(6) Loc. 36(試料030422-1)

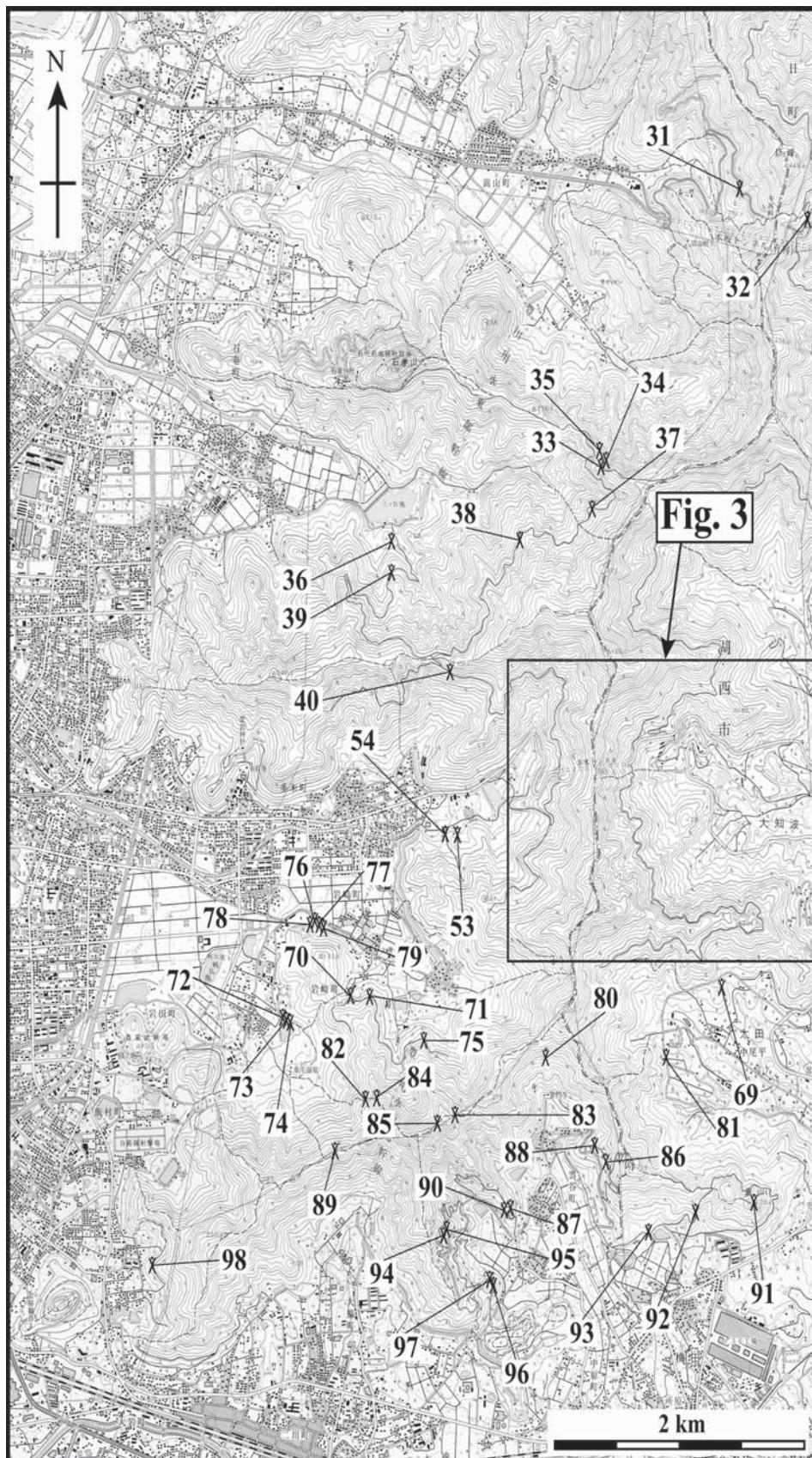
地点：三ッ口池南方の崖。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe* sp., *Triassocampe ? sp.*, *Capnuchosphaera* sp., *Capnuchosphaera ? sp.* (Plate 2)

年代：本試料からは保存不良で種名までは決定できないものの、*Triassocampe* 属及び *Capnuchosphaera* 属に属する放散虫が得られた。*Capnuchosphaera* 属は De Wever et al. (1979) により提唱され、*Capnuchosphaera* 帯から上位の *Capnodoce* 帯下部にかけて産出が認められる (Yoshida, 1986)。*Capnuchosphaera* 帯 (Yoshida, 1986) は TR5A 帯 (Carnian下部) - TR5B 帯 (Carnian上部) に対比される。したがって、本群集の示す年代は Carnian であると考えられる (Fig. 4)。

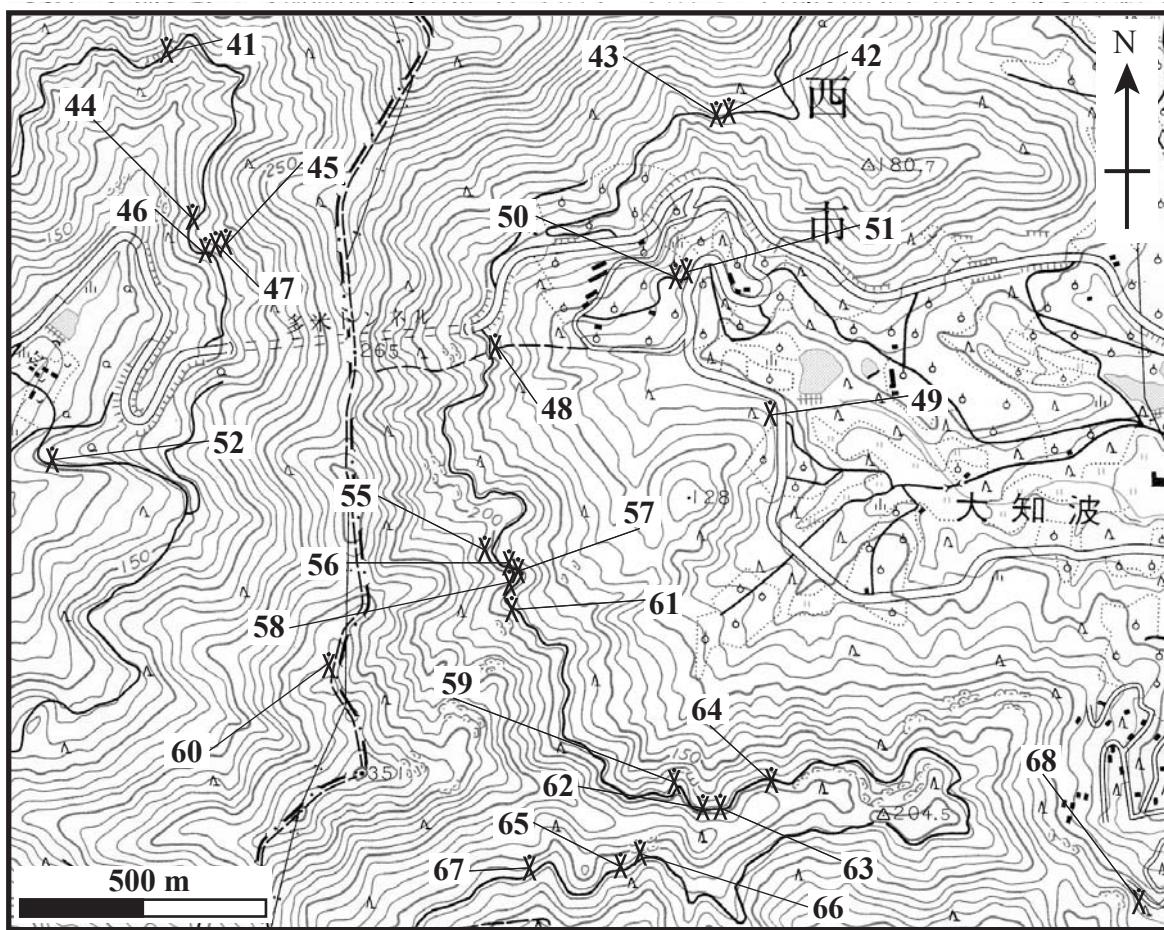
(7) Loc. 37(試料030517-7f)

豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)



第2図 豊橋東部地域の三畳紀放散虫産出地点。国土地理院発行の25,000分の1地形図「豊橋」及び「二川」を使用。

Fig. 2 Locality map showing the occurrences of Triassic radiolarians from the eastern Toyohashi area. Base map is from 1:25,000 topographic maps "Toyohashi" and "Futagawa" published by Geographical Survey Institute of Japan.



第3図 多米トンネル付近の三畳紀放散虫産出地点。国土地理院発行の25,000分の1地形図「豊橋」を使用。

Fig. 3 Locality map showing the occurrences of Triassic radiolarians around the Tame Tunnel. Base map is from 1:25,000 topographic map "Toyohashi" published by Geographical Survey Institute of Japan.

れた *Protopsium* sp. に類似する放散虫や、五十川ほか(1998)により *Pseudostylosphaera* sp. B とされた種に比較できる放散虫が識別された。Sashida (1991)及び五十川ほか(1998)の検討した試料は下部三畳系のものであり、本試料から得られた放散虫群集は前期三畳紀を示す可能性がある (Fig. 4)。

(13) Loc. 43(試料031206-1a)

地点：多米トンネル静岡県側出口付近から北に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica, *Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Protopsium* sp., *Pseudostylosphaera* sp. (Plate 2)

年代：*Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica は Dumitrica (1982)により記載され、TR0帯 (Spathian 中部) - TR8B帯 (Norian上部) のレンジを持つ。また、*Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida は Sashida (1983)により関東山地秩父帯の下部三畳系から記載され、そのレンジは TR0帯 - TR2C帯下部 (Anisian中部) である。本試料には更に、五十川ほか(1998)により下部三畳系から産出する放散虫として図示された

Pseudostylosphaera sp. A に類似する個体及び属種不明の *Spumellaria* が含まれる。したがって、本群集は前期三畳紀を示す可能性がある (Fig. 4)。

(14) Loc. 44(試料030419-4)

地点：多米トンネル愛知県側出口付近から石巻山に至る林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Tiborella* sp. (Plate 2)

年代：*Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) は Nakaseko and Nishimura (1979) により *Trilonche japonica* として記載され、そのレンジは TR1帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) である。また、*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) のレンジはそれぞれ TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR4A 帯下部 (Ladinian 中部) 及び TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR5A 帯 (Carnian 中部) である。し

たがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - Ladinian 前期であると考えられる (Fig. 4).

(15) Loc. 45(試料030419-3c)

地点：多米トンネル愛知県側出口付近より石巻山に至る林道から北東に延びる谷沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica, *Hozmadia* sp., *Tiborella* sp. (Plate 2)

年代：前述のように、*Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica はそれぞれ TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) 及び TR0 帯 (Spathian 中部) - TR8B 帯 (Norian 上部) のレンジを持つ。また、*Hozmadia* 属及び *Tiborella* 属は Dumitrica et al. (1980) により提唱され、それぞれ中部三畳系及び中部 - 上部三畳系から産出するとされている。したがって、本群集は Anisian-Ladinian 初頭の年代を示すと考えられる (Fig. 4)。

(16) Loc. 46(試料030419-3a)

地点：多米トンネル愛知県側出口付近より石巻山に至る林道から北東に延びる谷沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. aff. *T. diordinis* Bragin, *Spongoxystris hadra* Sugiyama, *Triassocampe* sp., *Eptingium* sp., *Oertlisponges* sp., *Pentactinocarpus* ? sp. (Plate 2)

年代：*Triassocampe coronata* Bragin と *Triassocampe diordinis* Bragin は Bragin (1991) により極東ロシアの三畳系から記載され、前者のレンジは TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) である。*Spongoxystris hadra* Sugiyama は Sugiyama (1997) により記載され、そのレンジは TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯 (Anisian 上部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - 後期である (Fig. 4)。

(17) Loc. 47(試料030419-3b)

地点：多米トンネル愛知県側出口付近より石巻山に至る林道から北東に延びる谷沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe* sp. aff. *T. coronata* Bragin, *Pentactinocarpus* sp. cf. *P. fusiformis* Dumitrica, *Triassocampe* sp., *Archaeocenosphaera* sp. (Plate 2)

年代：本試料からは *Triassocampe coronata* Bragin に類似する個体及び *Pentactinocarpus fusiformis* Dumitrica に比較される個体が得られた。*T. coronata* は TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) のレンジを持ち、また、Dumitrica (1978b) により記載された *P. fusiformis* は TR3B 帯 (Ladinian 下部) のレンジを持つ。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - Ladinian 前期であると考えられる

(Fig. 4)。

(18) Loc. 48(試料030421-2)

地点：多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Pseudostylosphaera* sp. (Plate 2)

年代：本試料から得られた *Pseudostylosphaera* sp. は、五十川ほか (1998) により下部三畳系から産出する放散虫として図示された *Pseudostylosphaera* sp. B に類似する。また、属種不明の *Spumellaria* (Plate 6, fig. 15) も五十川ほか (1998) の *Spumellaria* Form J に類似する。したがって、本試料中の放散虫群集は前期三畳紀を示す可能性がある (Fig. 4)。

(19) Loc. 49(試料030515-3)

地点：静岡県湖西市大知波から多米トンネルに至る県道の支線沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. aff. *T. coronata* Bragin, *Triassocampe campanilis* (Kozur et Mostler), *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura). (Plate 2)

年代：*Triassocampe campanilis* (Kozur et Mostler) は Kozur and Mostler (1994) により *Annulotriassocampe campanilis* として記載された種で、TR2A 帯上部 (Anisian 下部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) のレンジを持つ。*Triassocampe coronata* Bragin 及び *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura) のレンジはそれぞれ TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) 及び TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR4A 帯下部 (Ladinian 中部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - 後期である (Fig. 4)。

(20) Loc. 50(試料030515-1b)

地点：静岡県湖西市大知波から多米トンネルに至る県道の支線沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Parentactinia* sp. cf. *P. nakatsugawaensis* Sashida, *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Hozmadia* ? sp., *Archaeosemantis* ? sp., *Cryptostephanidium* sp., *Protopsium* sp. (Plate 3)

年代：前述のように *Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica ならびに *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) のレンジは、それぞれ TR0 帯 (Spathian 中部) - TR2C 帯下部 (Anisian 中部), TR0 帯 - TR8B 帯 (Norian 上部), TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) である。したがって、本群集の示す年代は Spathian 後期から Anisian 中期であると考えられるが、本試料には、五十川ほか (1998) により図示された前期三畳紀放散虫に類似する属種不明の

*Spumellaria*を多数含むことから、Spathian後期を示す可能性が高い(Fig. 4)。

(21) Loc. 51(試料030515-1c)

地点：静岡県湖西市大知波から多米トンネルに至る県道の支線沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Parentactinia* sp. cf. *P. nakatsugawaensis* Sashida, *Parentactinia okuchichibuensis* (Sashida), *Celluronta donax* Sugiyama, *Celluronta* sp. aff. *C. donax* Sugiyama, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Parentactinia* sp., *Hozmadia* sp., *Cryptostephanidium* sp., *Protopsium* sp., *Plafkerium* sp. (Plate 3)

年代：*Parentactinia okuchichibuensis* (Sashida)はSashida(1991)により*Archaeothamnulus okuchichibuensis*として関東山地の下部三畳系で記載された。*P. okuchichibuensis*はSpathianを示す*Parentactinia nakatsugawaensis*群集の主要な構成種である(Sugiyama, 1992)。*Celluronta donax* SugiyamaはSugiyama(1997)により記載され, TR2A帶(Anisian下部)-TR2B帶下部(Anisian下部)のレンジを持つ。また、*Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida及び*Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura)のレンジはそれぞれ、TR0帶(Spathian中部)-TR2C帶下部(Anisian中部)及びTR1帶(Spathian上部)-TR3B帶下部(Ladinian最下部)である。したがって、本群集の示す年代は、Spathian後期-Anisian前期であると考えられる(Fig. 4)。

(22) Loc. 52(試料031005-1)

地点：多米トンネル愛知県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe* sp. cf. *T. deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Planispinocyrtis praecursor* Kozur et Mostler, *Celluronta* ? *conica* Sugiyama, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Pentactinocarpus* ? sp., *Spine A2* sensu Sugiyama (1997). (Plate 3)

年代：*Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura)はNakaseko and Nishimura(1979)により*Yeharaia annulata*として記載された。*S. annulata*はTR2C帶上部(Anisian上部)-TR4A帶下部(Ladinian中部)のレンジを持つ。*Planispinocyrtis praecursor* Kozur et MostlerはKozur and Mostler(1994)により記載され, TR3A帶(Anisian上部)に産出が認められる。*Celluronta* ? *conica*はSugiyama(1997)により記載され, TR3A帶(Anisian上部)-TR3B帶下部(Ladinian最下部)のレンジを持つ。*Spine A2*は*Oertlisponges inaequispinosus* Dumitrica, Kozur et

Mostlerあるいは*Flexispongus cornubovis* Lahmに起源を持つものとされ(Sugiyama, 1997), そのレンジはTR3A帶(Anisian上部)-TR5B帶下部(Carnian中部)である。*Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura)はTR2B帶(Anisian中部)-TR5A帶(Carnian中部)のレンジを持つ。したがって、本群集の示す年代はAnisian後期である(Fig. 4)。

(23) Loc. 53(試料031003-5)

地点：多米東町から東に延びる林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Hozmadia ozawai* Sugiyama, *Hozmadia* ? sp., *Cryptostephanidium* ? sp., *Pseudostylosphaera* sp., *Pseudostylosphaera* ? sp. (Plate 4)

年代：*Hozmadia ozawai* SugiyamaはSugiyama(1992)により美濃帯の下部三畳系で記載され, TR1帶(Spathian上部)-TR2B帶下部(Anisian下部)のレンジを持つ。したがって、本群集はSpathian後期-Anisian前期を示すと考えられる(Fig. 4)。

(24) Loc. 54(試料031003-3)

地点：多米東町から東に延びる林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe* sp. aff. *T. coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. (Plate 4)

年代：本試料からは保存不良ながら*Triassocampe coronata* Braginに類似する放散虫が得られた。*T. coronata*はTR2B帶(Anisian中部)-TR3A帶下部(Anisian上部)のレンジを持つので、本群集はAnisian中期-後期を示す可能性がある(Fig. 4)。

(25) Loc. 55(試料030421-6)

地点：多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. aff. *T. deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Archaeocenosphaera* sp. (Plate 4)

年代：前述のように、*Triassocampe coronata* Bragin及び*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura)のレンジは、それぞれTR2B帶(Anisian中部)-TR3A帶下部(Anisian上部)及びTR2C帶(Anisian中部)-TR4A帶下部(Ladinian中部)である。したがって、本群集の示す年代はAnisian中期-後期であると考えられる(Fig. 4)。

(26) Loc. 56(試料030421-7a)

地点：多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成：*Triassocampe* sp. (Plate 4)

年代：本試料からは非常に保存が悪いものの、*Triassocampe*属の放散虫が得られた。*Triassocampe*属は中部三畳系から上部三畳系に産出するとされており(Dumitrica et al., 1980), 本群集の示す年代は中期-後期三畳紀であると考えられる。

(27) Loc. 57(試料030421-7b)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Hozmadia* ? sp. (Plate 4)

年代: 本試料中の放散虫化石は非常に保存が悪く、*Hozmadia* 属に属する可能性のある個体が識別されたのみである。*Hozmadia* 属は Dumitrica et al. (1980)によれば中部三畳系から産出する。したがって、本試料中の放散虫群集は中期三畳紀を示す可能性がある。

(28) Loc. 58(試料030421-7c)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Pseudostylosphaera* ? sp. (Plate 4)

年代: 本試料中の放散虫化石は非常に保存が悪く、*Pseudostylosphaera* 属に属する可能性のある個体が識別されたのみである。*Pseudostylosphaera* 属の放散虫は下部三畳系から上部三畳系までその産出が知られている (Yoshida, 1986; Sugiyama, 1997)。したがって、本試料中の放散虫群集は三畳紀を示すが、詳細な年代は不明である。

(29) Loc. 59(試料030421-12)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. aff. *T. coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. (Plate 4)

年代: 前述のように、*Triassocampe coronata* Bragin のレンジは TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) である。したがって、本試料中の放散虫群集は Anisian 中期 - 後期を示すと考えられる (Fig. 4)。

(30) Loc. 60(試料031207-6)

地点: 多米峠南方の稜線沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Hozmadia gifuensis* Sugiyama, *Hozmadia* sp. (Plate 4)

年代: *Hozmadia gifuensis* Sugiyama は Sugiyama (1992)により美濃帯の中部三畳系で記載され、TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR2C 帯下部 (Anisian 中部) のレンジを持つ。したがって、本群集の示す年代は Anisian 前期 - 中期であると考えられる (Fig. 4)。

(31) Loc. 61(試料030421-8)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica, *Hozmadia ozawai* Sugiyama, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama, *Plafkerium* ? *antiquum* Sugiyama,

Pantanellium ? sp., *Oertlisponges* ? sp., *Pseudostylosphaera* ? sp., *Plafkerium* ? sp., *Archaeocenosphaera* sp. (Plates 4, 5)

年代: 本試料からは保存状態の比較的良好な放散虫化石が多数得られている。美濃帯の中北部三畳系から記載された *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama は TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR2C 帯下部 (Anisian 中部) のレンジを持つ (Sugiyama, 1992)。*Plafkerium* ? *antiquum* Sugiyama は *Parentactinia nakatsugawaensis* 群集、*Hozmadia gifuensis* 群集及び *Triassocampe coronata* 群集に含まれること (Sugiyama, 1992) が知られている。*Parentactinia nakatsugawaensis* Sashida, *Archaeosemantis cristianensis* Dumitrica, *Hozmadia ozawai* Sugiyama 及び *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) のレンジは、それぞれ TR0 帯 (Spathian 中部) - TR2C 帯下部 (Anisian 中部)、TR0 帯 - TR8B 帯 (Norian 上部)、TR1 帯 (Spathian 上部) - TR2B 帯下部 (Anisian 下部) 及び TR1 帯 - TR3B 帯下部 (Ladinian 下部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 前期である (Fig. 4)。なお、本群集には属種不明の *Spumellaria* が多量に含まれる。

(32) Loc. 62(試料030421-13a)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. cf. *T. coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. cf. *T. diordinis* Bragin, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Triassocampe* sp., *Cryptostephanidium* ? sp., *Pseudostylosphaera* ? sp. (Plate 5)

年代: 前述のように、*Triassocampe coronata* Bragin, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler のレンジは、それぞれ TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部)、TR2B 帯 - TR5A 帯 (Carnian 中部) 及び TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR3A 帯下部である。したがって、本試料中の放散虫群集の示す年代は、Anisian 中期 - 後期であると考えられる (Fig. 4)。

(33) Loc. 63(試料030421-13b)

地点: 多米トンネル静岡県側出口付近から南に延びる林道沿い。(Fig. 3)

群集構成: *Celluronta* sp. aff. *C. donax* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama, *Pseudostylosphaera* ? sp., *Plafkerium* sp. (Plate 6)

年代: *Celluronta donax* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler 及び *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama のレンジは、それぞれ TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR2B 帯下部 (Anisian 下部)、TR2A

Nishimura), *Pseudotriassocampe hungarica* Kozur et Mostler, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Eptingium manfredi manfredi* Dumitrica, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Cryptostephanidium* sp., *Eptingium* ? sp. (Plate 6)

年代 : *Pseudotriassocampe hungarica* Kozur et MostlerはKozur and Mostler (1994)により記載され, Ladinian下部の *Spongasilicarmiger italicus* 帯から産出するとされた。この化石帶はTR2C帯 - TR3B帯下部に対比され, 年代はAnisian中期からLadinian前期を示す。*Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Eptingium manfredi manfredi* Dumitrica及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura)のレンジは, それぞれTR2C帯 (Anisian中部) - TR4A帯下部 (Ladinian中部), TR1帯 (Spathian上部) - TR3B帯下部 (Ladinian最下部), TR2A帯 (Anisian下部) - TR3A帯下部 (Anisian上部), TR2C帯 - TR3B帯下部及びTR2B帯 (Anisian中部) - TR5A帯 (Carnian中部)である (Sugiyama, 1997)。したがって, 本群集の示す年代はAnisian中期 - 後期である (Fig. 4)。

(38) Loc. 68(試料031007-1)

地点 : 静岡県湖西市大知波南部の住宅造成地の道路沿い. (Fig. 3)

群集構成 : *Celluronta donax* Sugiyama, *Tritortis* ? sp. (Plate 6)

年代 : *Celluronta donax* Sugiyamaのレンジは, TR2A帯 (Anisian下部) - TR2B帯下部 (Anisian下部)に限られるので, 本試料中の放散虫群集はAnisian前期を示すと考えられる (Fig. 4).

(39) Loc. 69(試料031013-1)

地点 : 静岡県湖西市太田の道路沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Cryptostephanidium* ? sp. (Plate 6)

年代 : 本試料からは保存状態が悪いものの, *Cryptostephanidium* 属に属すると思われる個体が識別された。*Cryptostephanidium* 属はDumitrica (1978a)により提唱され, Anisian中部 - Carnianから産出するとされている。したがって, 本試料中の放散虫群集はAnisian中期 - Carnianを示すと考えられる。

(40) Loc. 70(試料031004-5)

地点 : 岩崎町から南に延びる林道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe* sp. aff. *T. diordinis* Bragin, *Hozmadia spinosa* Kozur et Mostler, *Plafkerium* sp., *Pentactinocarpus* sp. (Plate 6)

年代 : *Hozmadia spinosa* Kozur et MostlerはKozur

and Mostler (1994)により記載され, Anisian上部から産出するとされている。また, *Triassocampe coronata* BraginはTR2B帯 (Anisian中部) - TR3A帯下部 (Anisian上部)のレンジを持つ。したがって, 本群集の示す年代は, Anisian中期 - 後期であると考えられる (Fig. 4)。

(41) Loc. 71(試料031004-7)

地点 : 岩崎町から南に延びる林道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Spongoxystris* sp., *Pantanellium* ? sp. (Plate 6)

年代 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura)のレンジは, それぞれTR2C帯 (Anisian中部) - TR4A帯下部 (Ladinian中部), TR2A帯 (Anisian下部) - TR3A帯下部 (Anisian上部)及びTR2B帯 (Anisian中部) - TR5A帯 (Carnian中部)である。したがって, 本群集の示す年代はAnisian中期 - 後期である (Fig. 4)。

(42) Loc. 72(試料031004-4)

地点 : 莖毛湿原北方の遊歩道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Hozmadia* sp. cf. *H. ozawai* Sugiyama, *Pseudostylosphaera* ? sp., *Pantanellium* ? sp., *Plafkerium* ? sp. (Plate 6)

年代 : 本試料からは *Hozmadia ozawai* Sugiyamaに比較される放散虫が得られた。*H. ozawai* はTR1帯 (Spathian上部) - TR2B帯下部 (Anisian下部)のレンジを持つ。また, 五十川ほか(1998)により下部三疊系から報告された *Pantanellium* ? sp. Cや*Pseudostylosphaera* sp. Dに類似する種も見いだされた。したがって, 本群集の示す年代はSpathian後期であると考えられる (Fig. 4)。

(43) Loc. 73(試料031004-3)

地点 : 莖毛湿原北方の遊歩道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Hozmadia ozawai* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler. (Plate 6)

年代 : *Hozmadia ozawai* Sugiyama及び *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostlerのレンジは, それぞれTR1帯 (Spathian上部) - TR2B帯下部 (Anisian下部)及びTR2A帯 (Anisian下部) - TR3A帯下部 (Anisian上部)である。また, 本群集には試料030421-8 (Loc. 61)と同様に保存良好な属種不明の *Spumellaria* が含まれる。したがって, 本群集の示す年代はAnisian前期である (Fig. 4)。

(44) Loc. 74(試料031004-2)

地点 : 莖毛湿原北方の遊歩道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe coronata* Bragin, *Pseudostylosphaera* sp. (Plate 6)

年代 : 本試料からは保存不良ながら *Triassocampe coronata* Braginが識別された。 *T. coronata* はTR2B帶 (Anisian 中部) - TR3A帶下部 (Anisian 上部) のレンジを持つので、本試料中の放散虫群集はAnisian中期 - 後期を示すと考えられる (Fig. 4).

(45) Loc. 75(試料031004-6)

地点 : 岩崎町から南に延びる林道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe* sp. (Plate 6)

年代 : 本試料中の放散虫化石は非常に保存が悪く、種名までの決定は困難である。得られた放散虫化石は中部三畳系から上部三畳系に産出するとされている *Triassocampe* 属に属すると考えられるが、詳細な年代は議論できない。

(46) Loc. 76(試料031004-8b)

地点 : 岩崎町の道路沿いの崖. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp. cf. *T. deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Ladinocampe japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Ladinocampe* sp. aff. *L. japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Planispinocyrtis praecursor* Kozur et Mostler, *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Spinotriassocampe* sp. aff. *S. annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Yeharaia elegans* Nakaseko et Nishimura, *Yeharaia* sp. cf. *Y. elegans* (Nakaseko et Nishimura), *Yeharaia* sp. aff. *Y. elegans* (Nakaseko et Nishimura), *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Tiborella agria* Sugiyama, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera tenuis* (Nakaseko et Nishimura), Spine A2 sensu Sugiyama (1997), *Triassocampe* sp., *Tubotriassocystis* ? sp., *Silicarmiger* ? sp., *Hozmadia* sp., *Eptingium* sp., *Eptingium* ? sp. (Plates 6, 7)

年代 : *Ladinocampe japonica* (Nakaseko et Nishimura)は Nakaseko and Nishimura (1979)により *Yeharaia japonica* として記載され、Ladinian前期を示す TR3B 帯にその産出が限られる。 *Yeharaia elegans* Nakaseko et Nishimura は Nakaseko and Nishimura (1979) により記載され、TR3B 帯 - TR4A 帯下部 (Ladinian 中部) のレンジを持つ。 *Tiborella agria* Sugiyama は Sugiyama (1992) により美濃帯の下部三畳系から記載された。 *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Planispinocyrtis praecursor* Kozur et Mostler, *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica*

(Nakaseko et Nishimura) 及び Spine A2 のレンジは、それぞれ TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR4A 帯下部 (Ladinian 中部), TR3A 帯 (Anisian 上部), TR2C 帯上部 - TR4A 帯下部, TR1 帯 (Spathian 上部) から TR3B 帯下部, TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR5A 帯 (Carnian 中部) 及び TR3A 帯 - TR5 帯下部 (Carnian 中部) である。したがって、本群集の示す年代は Ladinian 前期であると考えられる (Fig. 4).

(47) Loc. 77(試料031004-8c)

地点 : 岩崎町の道路沿いの崖. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Ladinocampe japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Yeharaia elegans* Nakaseko et Nishimura, *Pentactinocarpus fusiformis* Dumitrica, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Cryptostephanidium* sp. cf. *C. verrucosum* Dumitrica, *Eptingium manfredi japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Pseudostylosphaera tenuis* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), Spine A2 sensu Sugiyama (1997), *Triassocampe* sp., *Muelleritortis* sp., *Archaeocenosphaera* sp. (Plate 7)

年代 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Ladinocampe japonica* (Nakaseko et Nishimura) *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Yeharaia elegans* Nakaseko et Nishimura, *Pentactinocarpus fusiformis* Dumitrica, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) 及び Spine A2 のレンジは、それぞれ TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR4A 帯下部 (Ladinian 中部), TR3B 帯 (Ladinian 下部), TR2C 帯上部 - TR4A 帯下部, TR3B 帯 - TR4A 帯下部, TR3B 帯, TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部, TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部), TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR5A 帯 (Carnian 中部) 及び TR3A 帯 - TR5B 帯下部 (Carnian 中部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 後期 - Ladinian 前期である (Fig. 4).

(48) Loc. 78(試料031004-12)

地点 : 岩崎町の道路沿いの崖. (Fig. 2)

群集構成 : *Hozmadia ozawai* Sugiyama, *Hozmadia* sp. cf. *H. gifensis* Sugiyama, *Hozmadia* sp. aff. *H. gifensis* Sugiyama, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Hozmadia* sp., *Pentactinocarpus* ? sp., *Cryptostephanidium* sp., *Pseudostylosphaera* ? sp., *Tiborella* sp.,

Archaeocenosphaera sp. (Plate 8)

年代 : *Hozmadia ozawai* Sugiyama, *Hozmadia gifuensis* Sugiyama 及び *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura)のレンジはそれぞれTR1帶 (Spathian上部) - TR2B帶下部 (Anisian下部), TR2A帶 (Anisian下部) - TR2C帶下部 (Anisian中部) 及び TR1帶 (Spathian上部) - TR3B帶下部 (Ladinian最下部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 前期である (Fig. 4).

(49) Loc. 79(試料031004-10)

地点 : 岩崎町の道路沿いの崖. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler. (Plate 8)

年代 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostlerのレンジは、それぞれTR2C帶 (Anisian中部) - TR4A帶下部 (Ladinian中部), TR2B帶 (Anisian中部) - TR5A帶 (Carnian中部) 及びTR2A帶 (Anisian下部) - TR3A帶下部 (Anisian上部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - 後期である (Fig. 4).

(50) Loc. 80(試料031208-7)

地点 : 普門寺から北に延びる谷沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Parasepsagon variabilis* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera magnispinosa* Yeh, *Triassocampe* sp., *Archaeocenosphaera* sp. (Plate 8)

年代 : Nakaseko and Nishimura (1979)により *Staurodoras variabilis* として原記載された *Parasepsagon variabilis* (Nakaseko et Nishimura)は、TR2B帶 (Anisian中部) - TR3A帶下部 (Anisian上部) のレンジを持つ。また、*Pseudostylosphaera magnispinosa* YehはYeh (1989)により北米の中部三畳系で記載され、TR3B帶上部 (Ladinian下部) - TR4A帶下部 (Ladinian中部) のレンジを持つ。*Triassocampe coronata* Bragin, *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler 及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura)のレンジは、それぞれTR2B帶 - TR3A帶下部, TR2C帶 (Anisian中部) - TR4A帶下部, TR2A帶 (Anisian下部) - TR3A帶下部及びTR2B帶 - TR5A帶 (Carnian中部) である。したがって、本群集の示す年

代は Anisian 後期 - Ladinian 前期であると考えられる (Fig. 4).

(51) Loc. 81(試料031013-3)

地点 : 静岡県湖西市太田の道路沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura). (Plate 8)

年代 : *Spinotriassocampe annulata* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura)のレンジは、それぞれTR2C帶上部 (Anisian上部) - TR4A帶下部 (Ladinian中部) 及びTR2B帶 (Anisian中部) - TR5A帶 (Carnian中部) である。したがって、本試料中の放散虫群集の示す年代は Anisian 中期 - Ladinian 中期であると考えられる (Fig. 4).

(52) Loc. 82(試料031209-3)

地点 : 輩毛湿原から東に延びる自然歩道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama, *Oertlisponges* ? sp. (Plate 8)

年代 : *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Oertlisponges diacanthus* Sugiyama のレンジは、それぞれTR1帶 (Spathian上部) - TR3B帶下部 (Ladinian最下部) 及びTR2A帶 (Anisian下部) - TR2C帶下部 (Anisian中部) である。したがって、本試料中の放散虫群集の示す年代は Anisian 前期 - 中期であると考えられる (Fig. 4).

(53) Loc. 83(試料031208-4)

地点 : 輩毛湿原南東方の稜線沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Ferresium* ? sp., *Saturnosphaera* ? sp. (Plate 8)

年代 : 本試料から得られた放散虫化石は非常に保存が悪く、属名の同定も困難である。したがって、詳細な年代は不明である。

(54) Loc. 84(試料031209-1a)

地点 : 輩毛湿原から東に延びる自然歩道沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Hozmadia* sp., *Pseudostylosphaera* ? sp., *Plafkerium* ? sp., *Archaeocenosphaera* ? sp. (Plate 8)

年代 : *Hozmadia* 属は中部三畳系から産出するとされている (Dumitrica et al., 1980)。本試料から得られた放散虫化石は種名まで同定することができないが、中期三畳紀を示すものと考えられる。

(55) Loc. 85(試料031208-3)

地点 : 輩毛湿原南東方の稜線沿い. (Fig. 2)

群集構成 : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko et Nishimura), *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et

(63) Loc. 93(試料031207-7)

地点：嵩山西方の自然歩道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Celluronta donax* Sugiyama, *Celluronta ? jovi* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Paroertlisponges* sp., *Pantanellium* sp. *Pseudostylosphaera* sp., *Plafkerium* sp., *Archaeocenosphaera* sp., *Archaeocenosphaera ? sp.* (Plate 9)

年代：*Celluronta ? jovi* Sugiyama は Sugiyama (1997)により美濃帯の中部三畳系から記載され, TR2A 帯 (Anisian 下部) に限って産出する。 *Triassocampe coronata* Bragin, *Celluronta donax* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) のレンジは、それぞれTR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部), TR2A 帯 - TR2B 帯下部, TR2A 帯 - TR3A 帯下部, TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) 及び TR2B 帯 - TR5A 帯 (Carnian 中部) である。したがって、本試料中の放散虫群集の示す年代は Anisian 前期 - 中期であると考えられる (Fig. 4)。

(64) Loc. 94(試料031012-1a)

地点：雲谷町西方の林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Celluronta donax* Sugiyama, *Hozmadia spinifera* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Triassocampe* sp., *Pantanellium* sp. (Plate 10)

年代：*Hozmadia spinifera* Sugiyama は TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) のレンジを持つ。また、*Celluronta donax* Sugiyama, *Eptingium nakasekoi* Kozur et Mostler 及び *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) のレンジは、それぞれ TR2A 帯 - TR2B 帯下部 (Anisian 中部), TR2A 帯 - TR3A 帯下部 及び TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期であると考えられる (Fig. 4)。

(65) Loc. 95(試料031012-1c)

地点：雲谷町西方の林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Celluronta donax* Sugiyama, *Triassocampe* sp. (Plate 9)

年代：*Triassocampe coronata* Bragin 及び *Celluronta donax* Sugiyama のレンジは それぞれ TR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部) 及び

TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR2B 帯下部 (Anisian 中部) である。したがって、本試料中の放散虫群集の示す年代は Anisian 中期であると考えられる (Fig. 4)。

(66) Loc. 96(試料031012-4)

地点：雲谷町南西方の林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura), *Pseudostylosphaera* sp. (Plate 9)

年代：*Triassocampe coronata* Bragin, *Cryptostephanidium japonicum* (Nakaseko et Nishimura) 及び *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko et Nishimura) のレンジは、それぞれTR2B 帯 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部), TR1 帯 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部) 及び TR2B 帯 - TR5A 帯 (Carnian 中部) である。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - 後期であると考えられる (Fig. 4)。

(67) Loc. 97(試料031012-3)

地点：雲谷町南西方の林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Japonocampe nova* (Yao), *Corum regium* Blome, *Canesium lentum* Blome, *Pentactinocarpus sevaticus* Kozur et Mostler, *Paleosaturnalis zapfei* (Kozur et Mostler), *Sarla prietoensis* Pessagno, *Haeckelicyrtium* sp., *Syringocapsa* sp., *Capnodoce* sp., *Capnodoce ? sp.*, *Capnuchosphaera* sp., *Sarla* sp., *Sarla* ? sp., *Plafkerium* ? sp., *Archaeocenosphaera* sp., *Pantanellium* ? sp., *Pseudoheliodiscus* sp. (Plate 10)

年代：*Japonocampe nova* (Yao) は Yao (1982) により *Triassocampe nova* として記載された種で、そのレンジは TR5B 帯上部 (Carnian 中部) - TR7 帯下部 (Norian 中部) である。*Corum regium* Blome 及び *Canesium lentum* Blome は Blome (1984) により北米の上部三畳系から記載され、そのレンジは それぞれ TR6A 帯 (Carnian 上部) - TR6B 帯 (Norian 下部) 及び TR5A 帯上部 (Carnian 中部) - TR6B 帯下部 (Norian 下部) である。*Pentactinocarpus sevaticus* Kozur et Mostler は Kozur and Mostler (1981) により記載され、TR6B 帯上部 - TR8A 帯下部 (Norian 中部) のレンジを持つ。*Paleosaturnalis zapfei* (Kozur et Mostler) は Kozur and Mostler (1981) により記載され、TR6B 帯からの産出が知られている。*Sarla prietoensis* Pessagno は Pessagno et al. (1979) により記載され、TR6B 帯上部 - TR8A 帯下部 のレンジを持つ。したがって、本群集の示す年代は Norian 前期である (Fig. 4)。

(68) Loc. 98(試料031130-4)

地点：大岩町北方の林道沿い。(Fig. 2)

群集構成：*Triassocampe coronata* Bragin, *Eptingium manfredi* Dumitrica, *Eptingium*

帶 (Anisian 中部) - TR3A 帯下部 (Anisian 上部), TR2C 帯 (Anisian 中部) - TR3B 帯下部 (Ladinian 最下部), TR2A 帯 (Anisian 下部) - TR3A 帯下部, TR1 帶 (Spathian 上部) - TR3B 帯下部及び TR2B 帯 - TR5A 帯 (Carnian 中部) である (Sugiyama, 1997)。したがって、本群集の示す年代は Anisian 中期 - 後期である (Fig. 4)。

3.まとめ

豊橋地域の秩父帯から採取した68地点のチャートから三畳紀放散虫化石が得られ、33属55種の既記載種（及び類似する種）を含む多数の形態種が識別された。その結果、得られた放散虫化石の年代は前期三畳紀の後期から後期三畳紀に至ることが明らかになった。

謝辞：地質情報研究部門の中江 訓博士には、査読を通じて原稿をよりよくする上で有益な御助言をいただいた。ここに記して感謝の意を表します。

文 献

- Blome, C. D. (1984) Upper Triassic radiolaria and radiolarian zonation from western North America. *Bull. Amer. Paleont.*, **85**, 5-88.
- Bragin, N. J. (1991) Radiolaria and Lower Mesozoic units of the USSR east regions. *Trans. Acad. Sci. USSR*, **469**, 1-122.
- De Wever, P., Sanfilippo, A., Riedel, W. R. and Gruber, B. (1979) Triassic radiolarians from Greece, Sicily and Turkey. *Micropaleontology*, **25**, 75-110.
- Dumitrica, P. (1978a) Family Eptingiidae n. fam., extinct Nassellaria (Radiolaria) with sagital ring. *Dări de seamă ale ședințelor*, **64**, 27-38.
- Dumitrica, P. (1978b) Triassic Palaeoscenidiidae and Entactiniidae from the Vicentinian Alps (Italy) and eastern Carpathians (Romania). *Dări de seamă ale ședințelor*, **64**, 39-54.
- Dumitrica, P. (1982) Middle Triassic spicular Radiolaria. *Rev. Espanola, Micropaleont.*, **14**, 401-428.
- Dumitrica, P., Kozur, H. and Mostler, H. (1980) Contribution to the radiolarian fauna of the Middle Triassic of the Southern Alps. *Geol. Paläont. Mitt. Innsbruck*, **10**, 1-46.
- 堀 常東 (2004) 5万分の1地質図幅「豊橋」地域の秩父帯チャートから産する三畳紀放散虫化石。地調研報, **55**, 303-334
- 池田芳雄 (1990) 葦毛湿原調査報告書。豊橋市教育委員会, 豊橋市, 14p.
- 家田健吾・杉山和弘 (1998) 豊橋市東部地域の秩父帯から産出する三畳紀放散虫化石。豊橋市自然史博研報, no. 8, 17-21.
- 五十川淳一・相田吉昭・酒井豊三郎 (1998) 栃木県葛生町箕輪地区の層状チャートから産出する前期三畳紀放散虫化石。大阪微化石研究会誌特別号, no. 11, 81-93.
- Kozur, H. and Krahl, J. (1984) First evidence of Triassic radiolaria in the Phyllite Group on Crete Island. *N. Jb. Geol. Paläont. Mh.*, **1984**, 400-404.
- Kozur, H. and Mostler, H. (1972) Beiträge zur Erforschung der mesozoischen Radiolarien. Teil I: Revision der Oberfamilie Coccodiscacea HAECKEL 1862 emend. und Beschreibung ihrer triassischen Vertreter. *Geol. Paläont. Mitt. Innsbruck*, **2**, 1-60.
- Kozur, H. and Mostler, H. (1979) Beiträge zur Erforschung der mesozoischen Radiolarien. Teil III: Die Oberfamilien Actinommacea HAECKEL 1862 emend., Artiscacea HAECKEL 1882, Multiarcusellacea nov. der Spumellaria und triassische Nassellaria. *Geol. Paläont. Mitt. Innsbruck*, **9**, 1-132.
- Kozur, H. and Mostler, H. (1981) Beiträge zur Erforschung der mesozoischen Radiolarien. Teil IV: Thalassosphaeracea HAECKEL, 1862, Hexastylacea HAECKEL, 1882 emend. PETRUSHEVSKAYA, 1979, Sponguracea HAECKEL, 1862 emend. und weitere triassische Lithocyliacea, Trematodiscacea, Actinommacea und Nassellaria. *Geol. Paläont. Mitt. Innsbruck, Sonderbd.*, **1**, 1-208.
- Kozur, H. and Mostler, H. (1994) Anisian to Middle Carnian radiolarian zonation and description of some stratigraphically important radiolarians. *Geol. Paläont. Mitt. Innsbruck, Sonderbd.*, **3**, 39-255.
- Nakaseko, K. and Nishimura, A. (1979) Upper Triassic radiolaria from Southwest Japan. *Sci. Rep., Coll. Edu., Osaka Univ.*, **28**, 61-109.
- 丹羽耕輔・大塚 勉 (2001) 浜名湖西方地域の秩父帯付加コンプレックスから産出した後期古生代および中生代放散虫化石。信州大学理学部紀要, **36**, 77-93.
- Pessagno, E. A. Jr. and Blome, C. D. (1980) Upper Triassic and Jurassic Pantanelliinae from California, Oregon and British Columbia. *Micropaleontology*, **26**, 225-273.
- Pessagno, E. A. Jr., Finch, W. and Abbott, P. L. (1979) Upper Triassic radiolaria from the San Hipólito Formation, Baja California. *Micropaleontology*, **25**, 160-197.

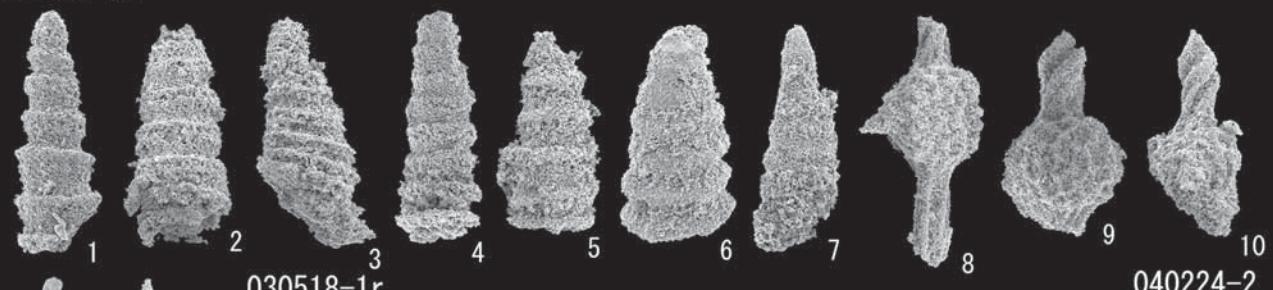
- Sashida, K. (1983) Lower Triassic radiolaria from the Kanto Mountains, central Japan. Part 1: Palaeoscenidiidae. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., no. 131, 168-176.
- Sashida, K. (1991) Early Triassic radiolarians from the Ogamata Formation, Kanto Mountains, central Japan. Part 2. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., no. 161, 681-696.
- Sugiyama, K. (1992) Lower and Middle Triassic radiolarians from Mt. Kinkazan, Gifu Prefecture, central Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., no. 167, 1180-1223.
- Sugiyama, K. (1997) Triassic and Lower Jurassic radiolarian biostratigraphy in the siliceous claystone and bedded chert units of the south-eastern Mino Terrane, central Japan. *Bull. Mizunami Fossil Mus.* no. 24, 79-193.
- Yao, A. (1982) Middle Triassic to Early Jurassic radiolarians from the Inuyama area, central Japan. *Jour. Geosci., Osaka City Univ.*, **25**, 53-70.
- Yeh, K. Y. (1989) Studies of radiolaria from the Fields Creek Formation, East-Central Oregon, U.S.A. *Bull. Natn. Mus. Nat. Sci.*, Taiwan, no. 1, 43-109.
- Yoshida, H. (1986) Upper Triassic to Lower Jurassic radiolarian biostratigraphy in Kagamigahara City, Gifu Prefecture, central Japan. *Jour. Earth Sci. Nagoya Univ.*, **34**, 1-21.

(受付：2004年9月1日；受理：2004年11月18日)

豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)

Plate 1

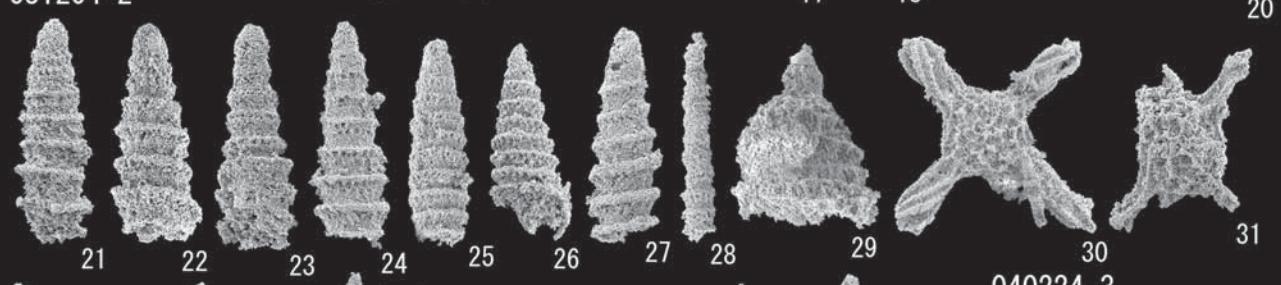
030423-14



030518-1r

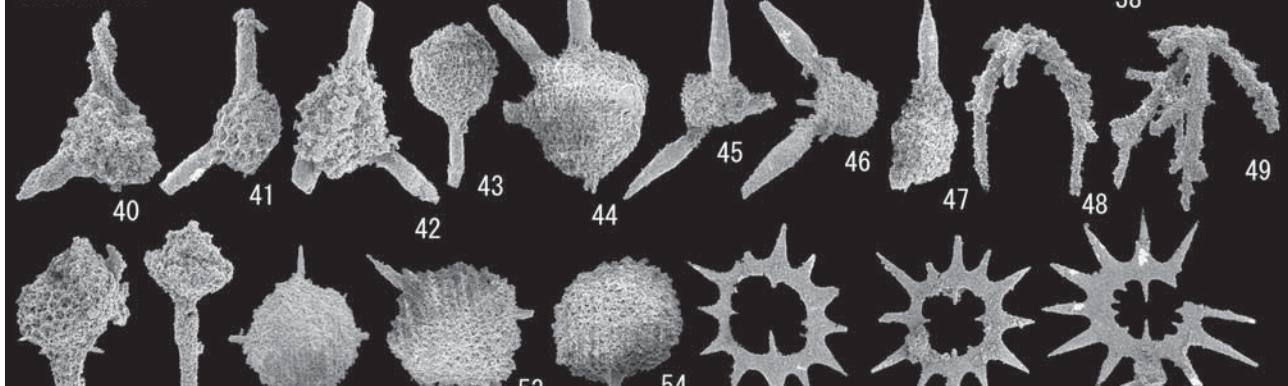
040224-2

031204-2



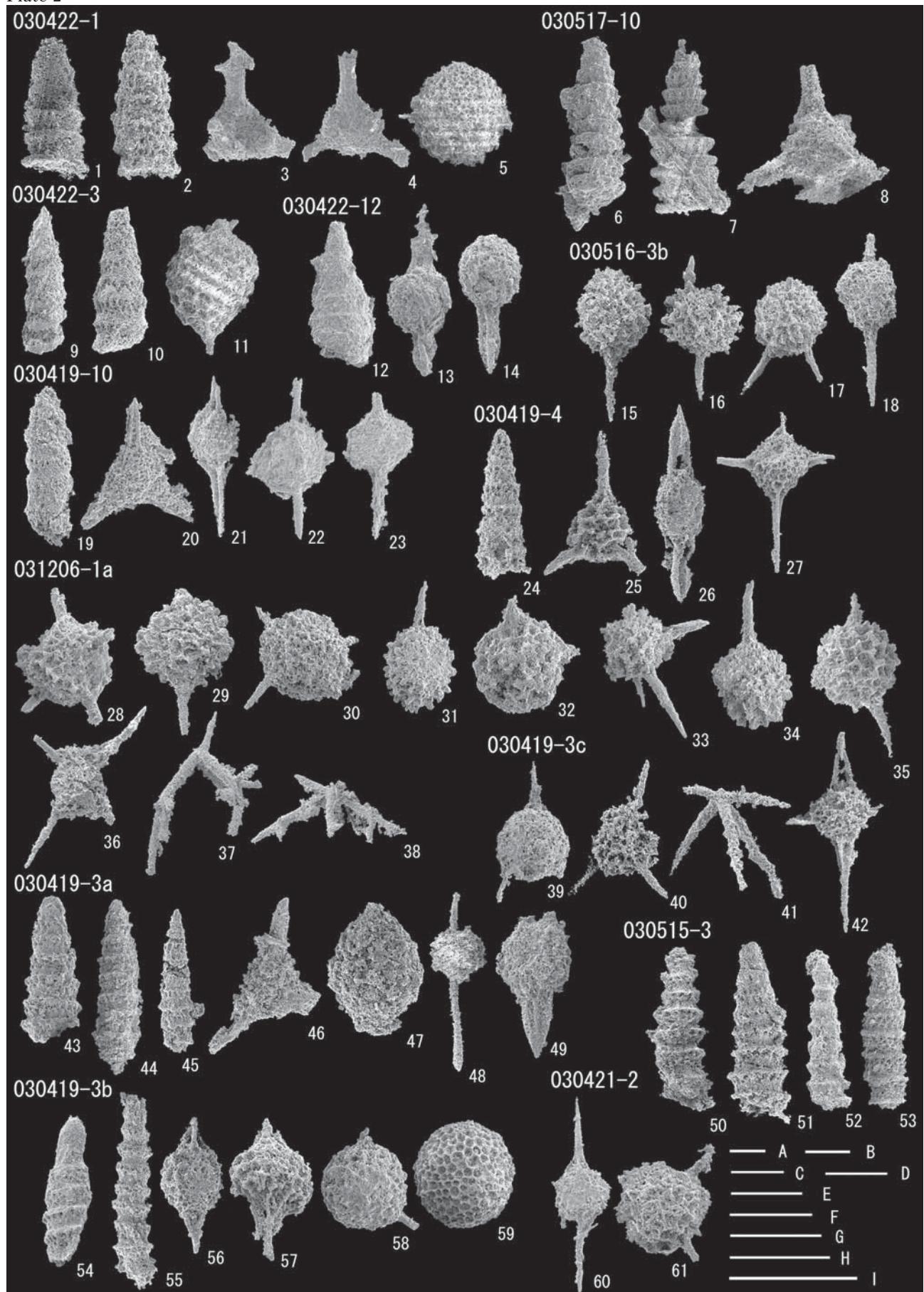
040224-3

030517-7f



— A	— B	— C
— D	— E	— G
— F	— H	— I
— J		
— K		
— L		

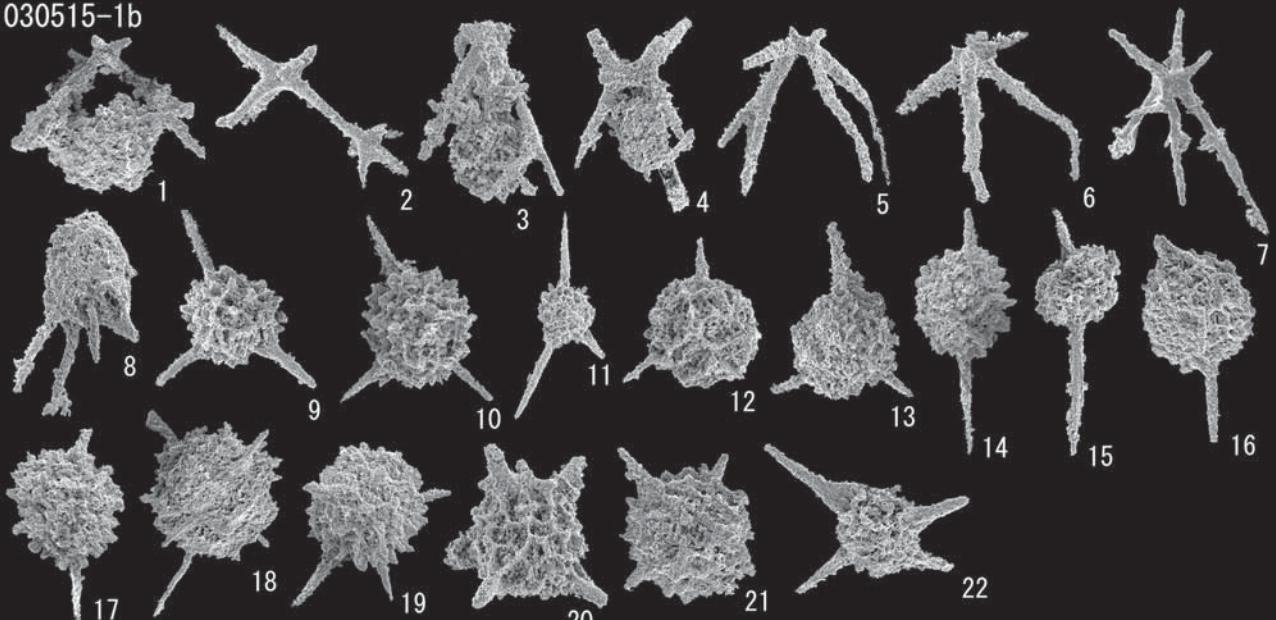
Plate 2



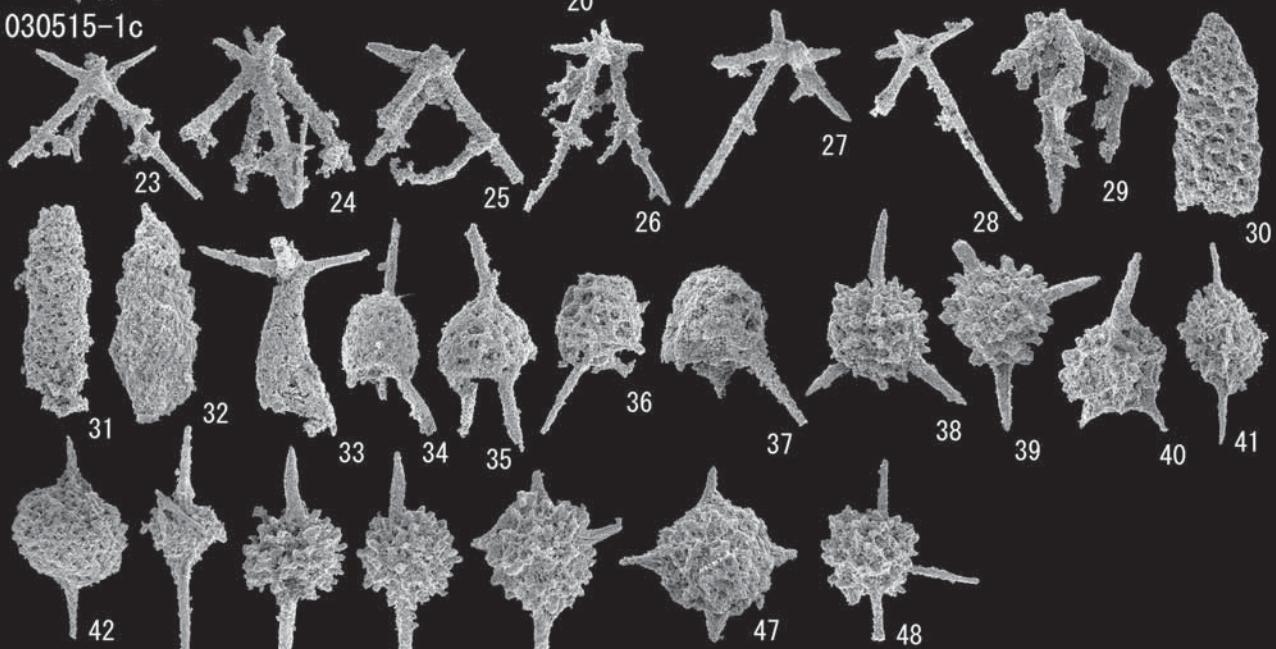
豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)

Plate 3

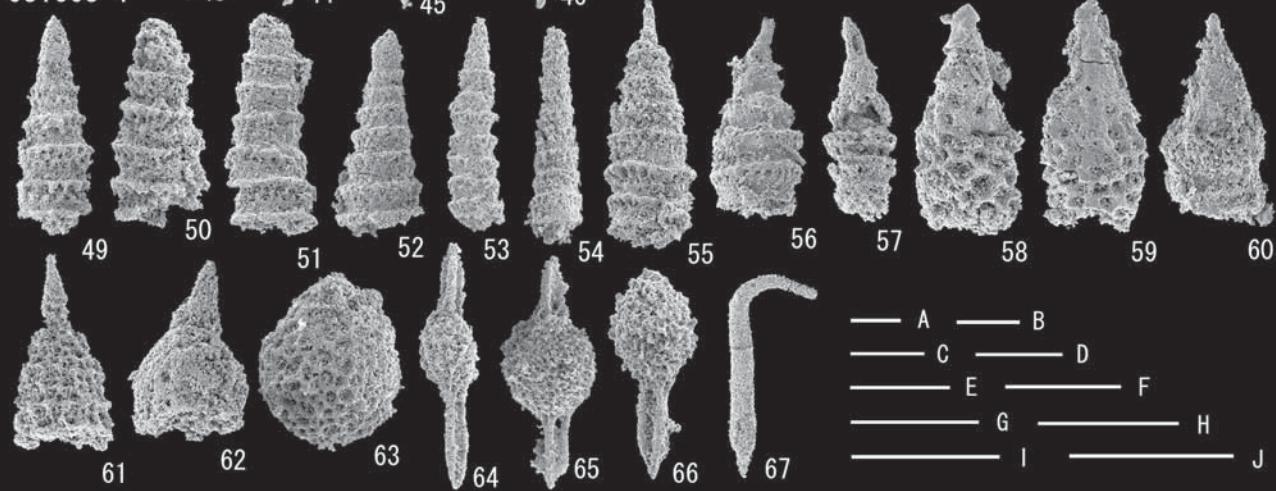
030515-1b



030515-1c

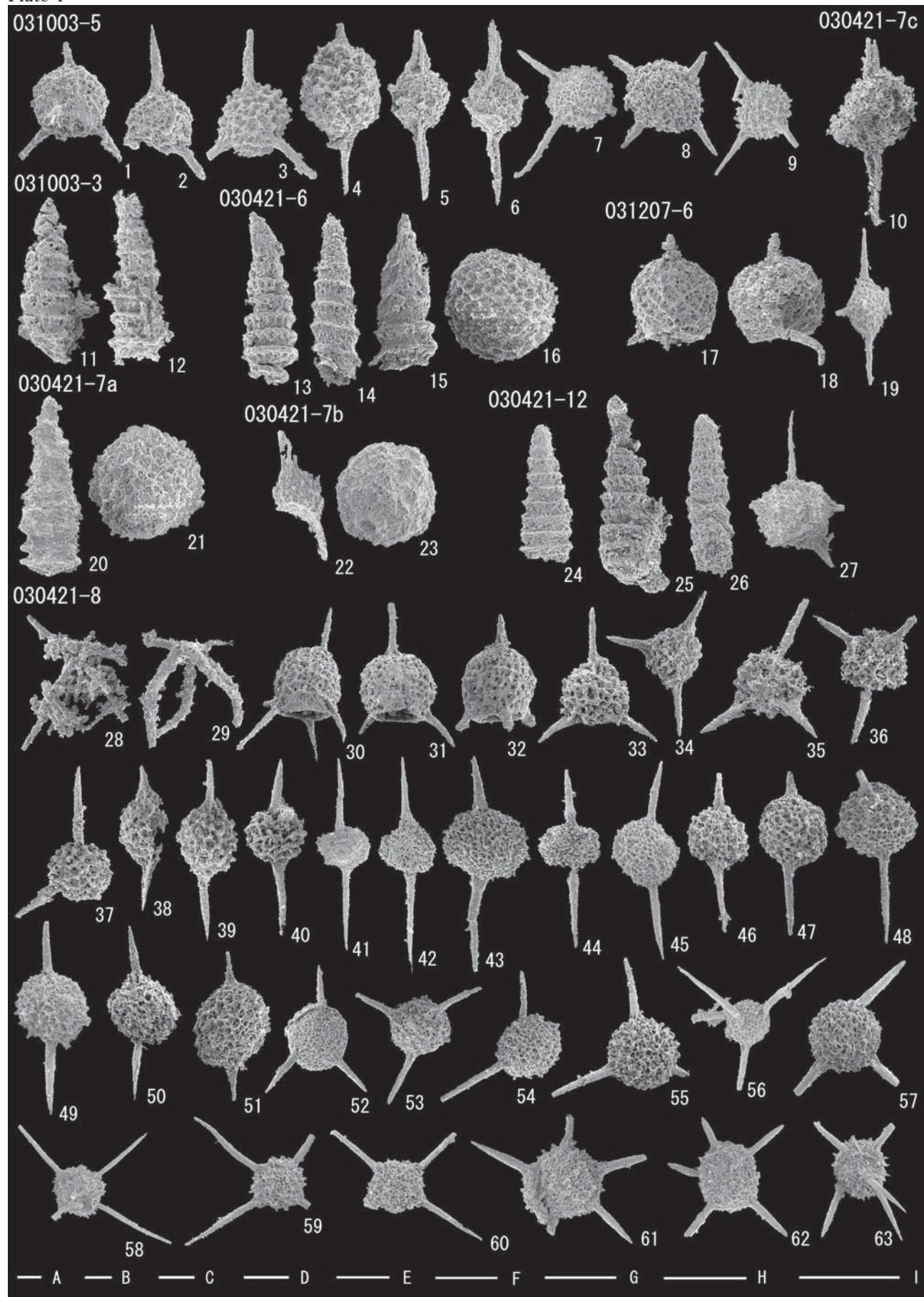


031005-1



A — B
C — D
E — F
G — H
I — J

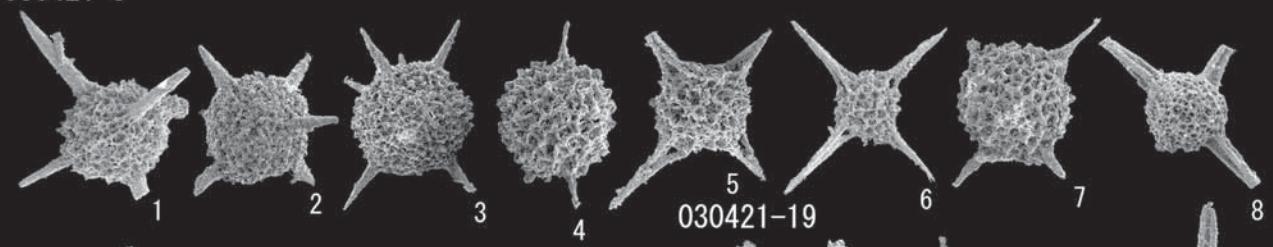
Plate 4



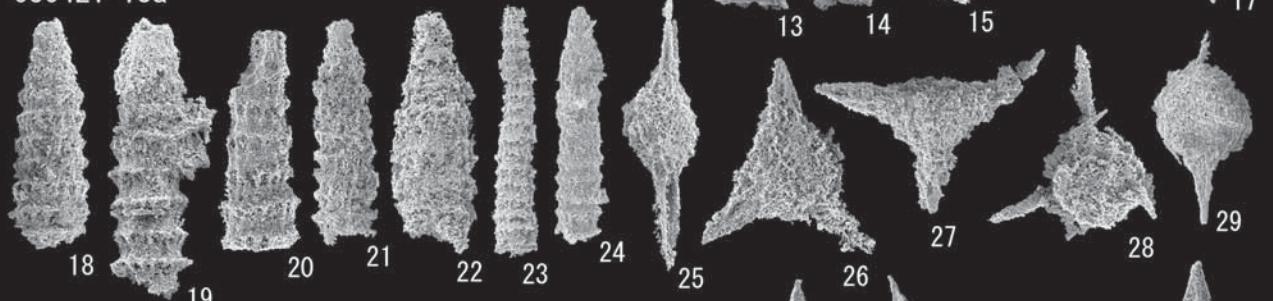
豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)

Plate 5

030421-8



030421-13a



030421-18

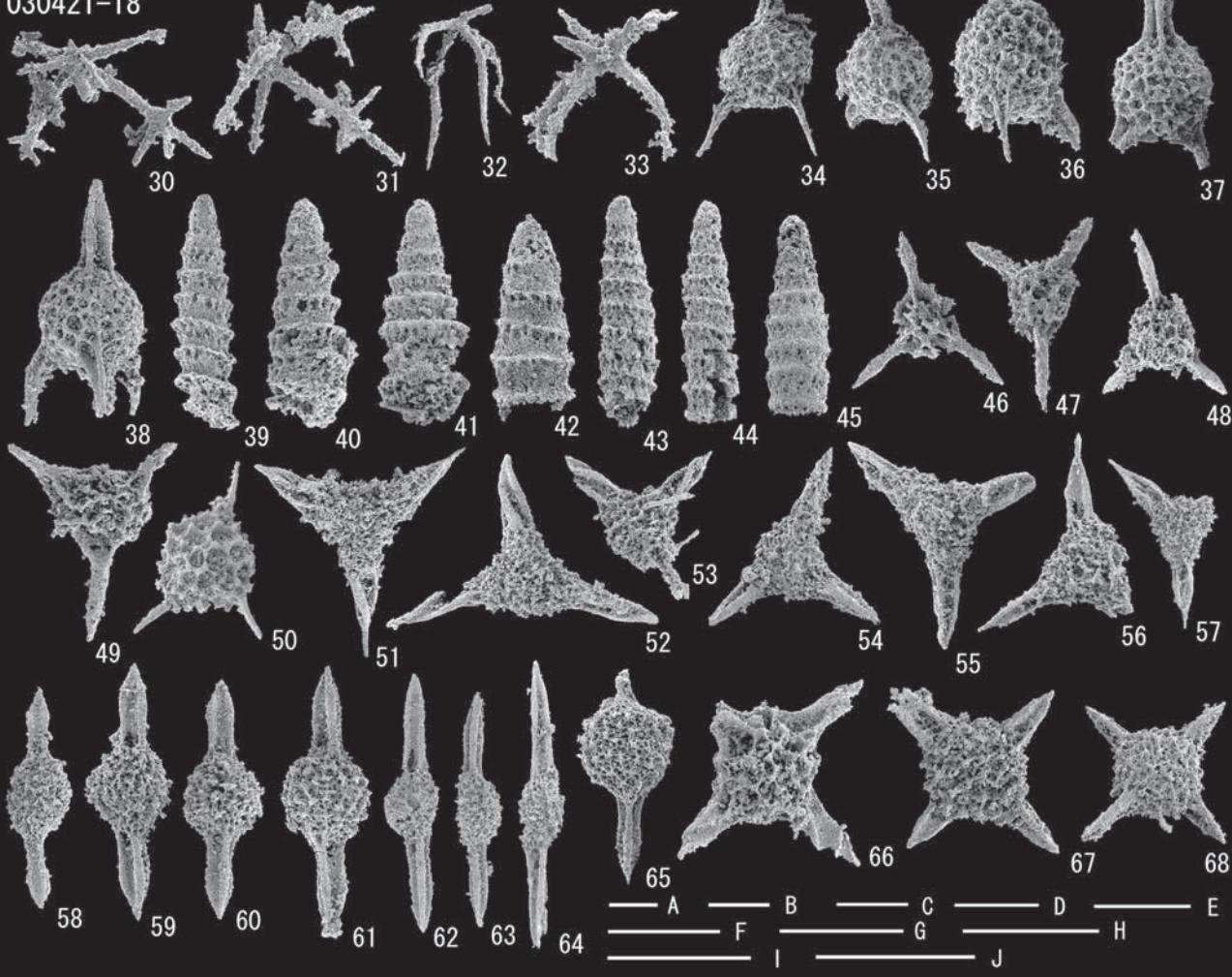
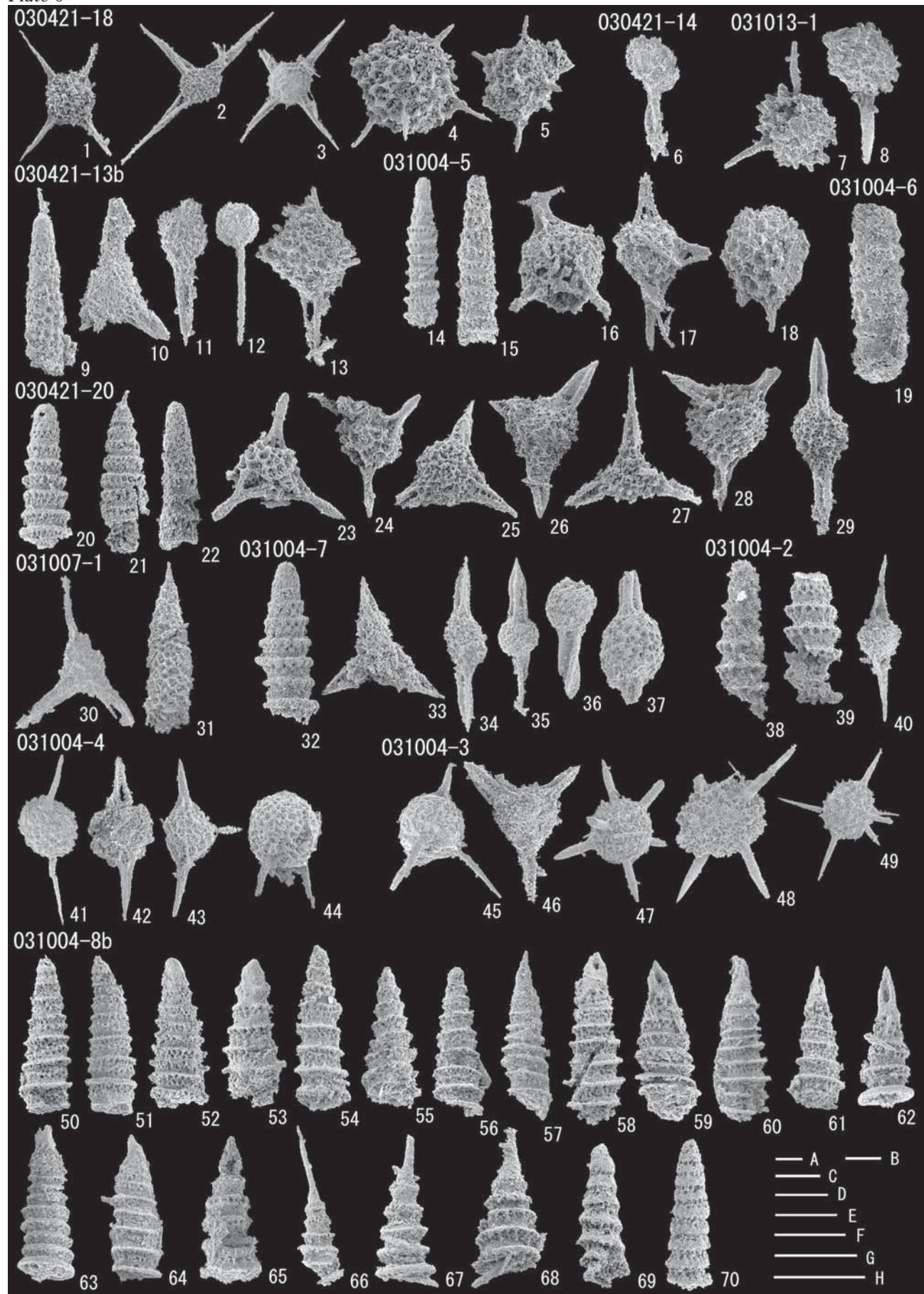


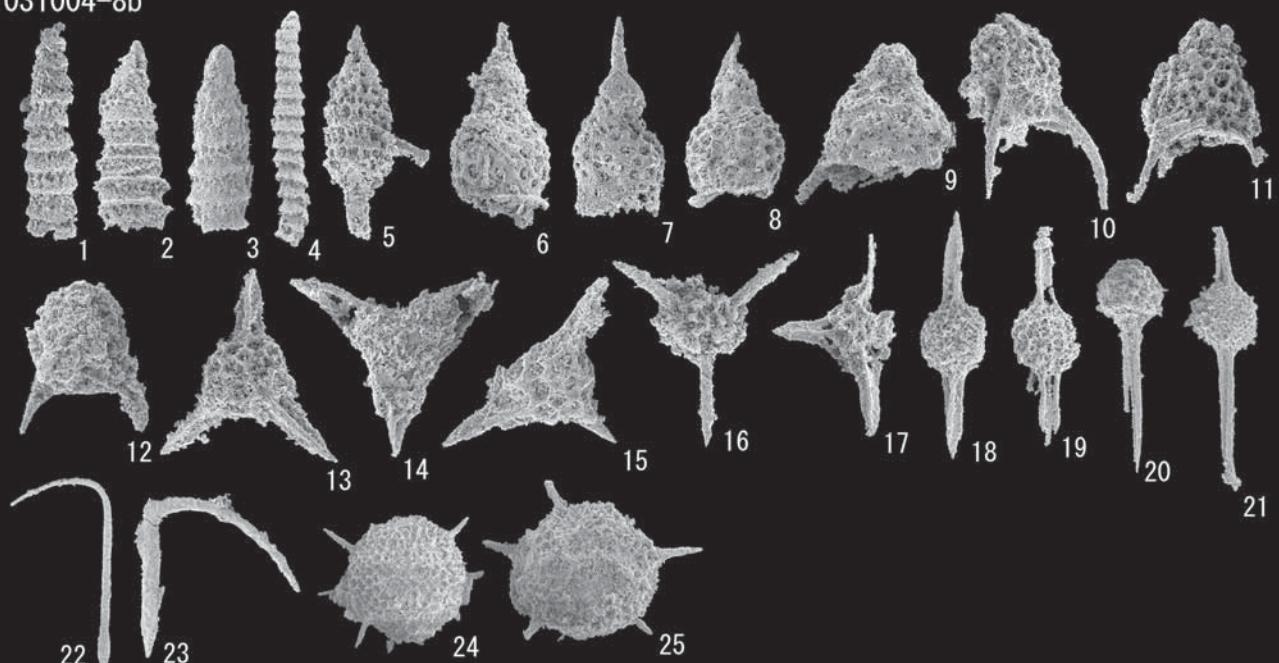
Plate 6



豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)

Plate 7

031004-8b



031004-8c

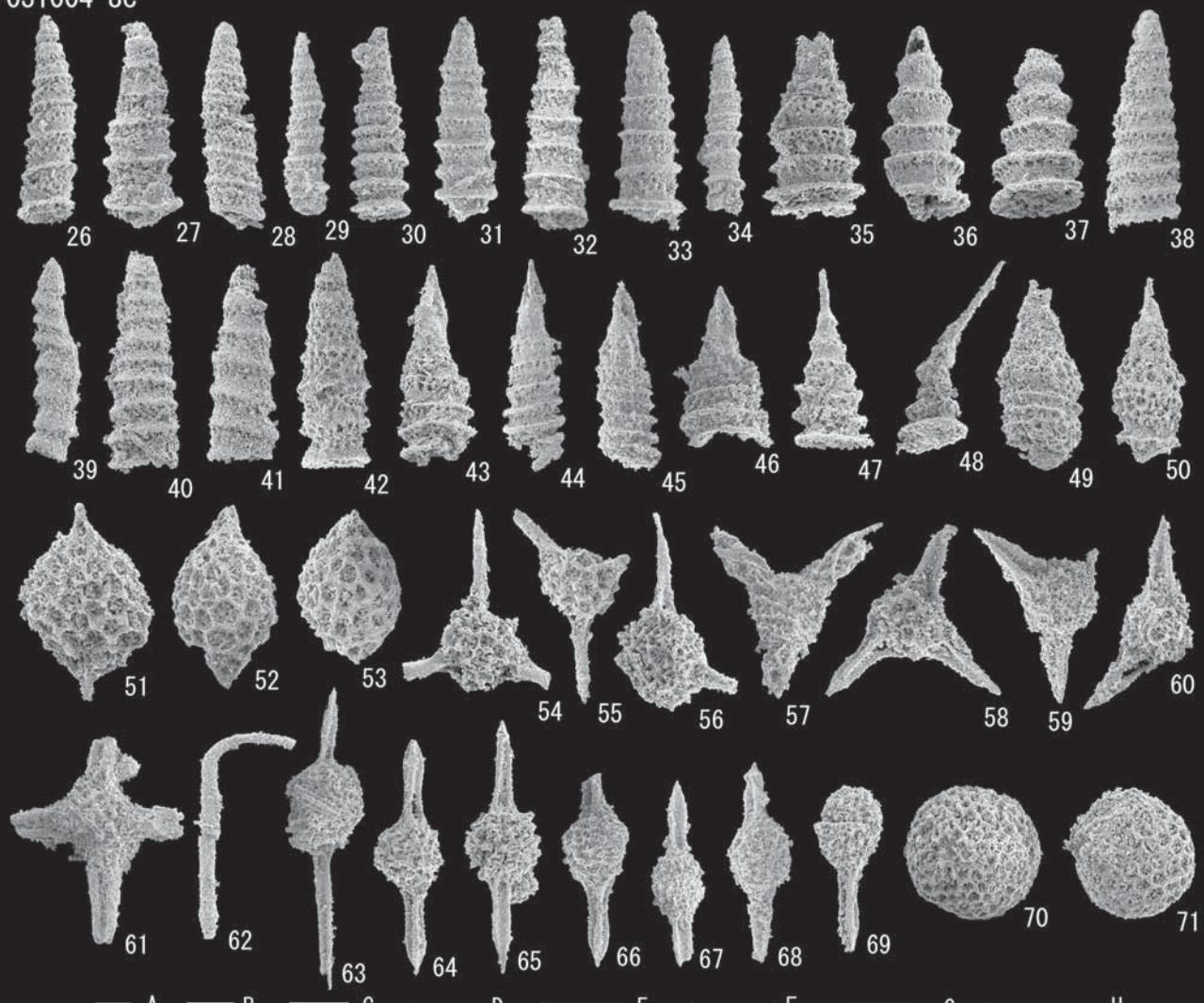
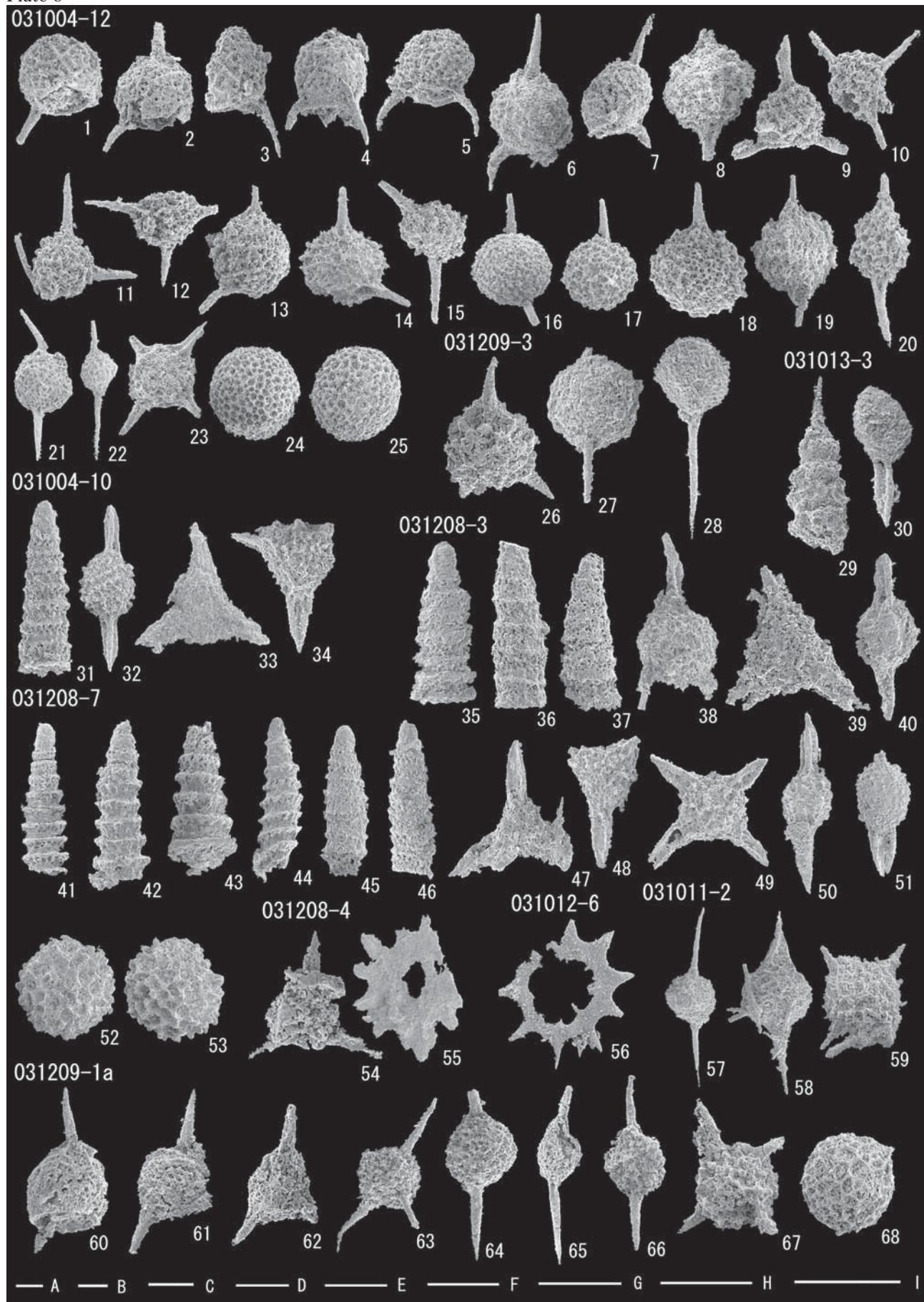


Plate 8



豊橋地域の秩父帯から産する三畳紀放散虫化石(堀)

Plate 9

031011-3

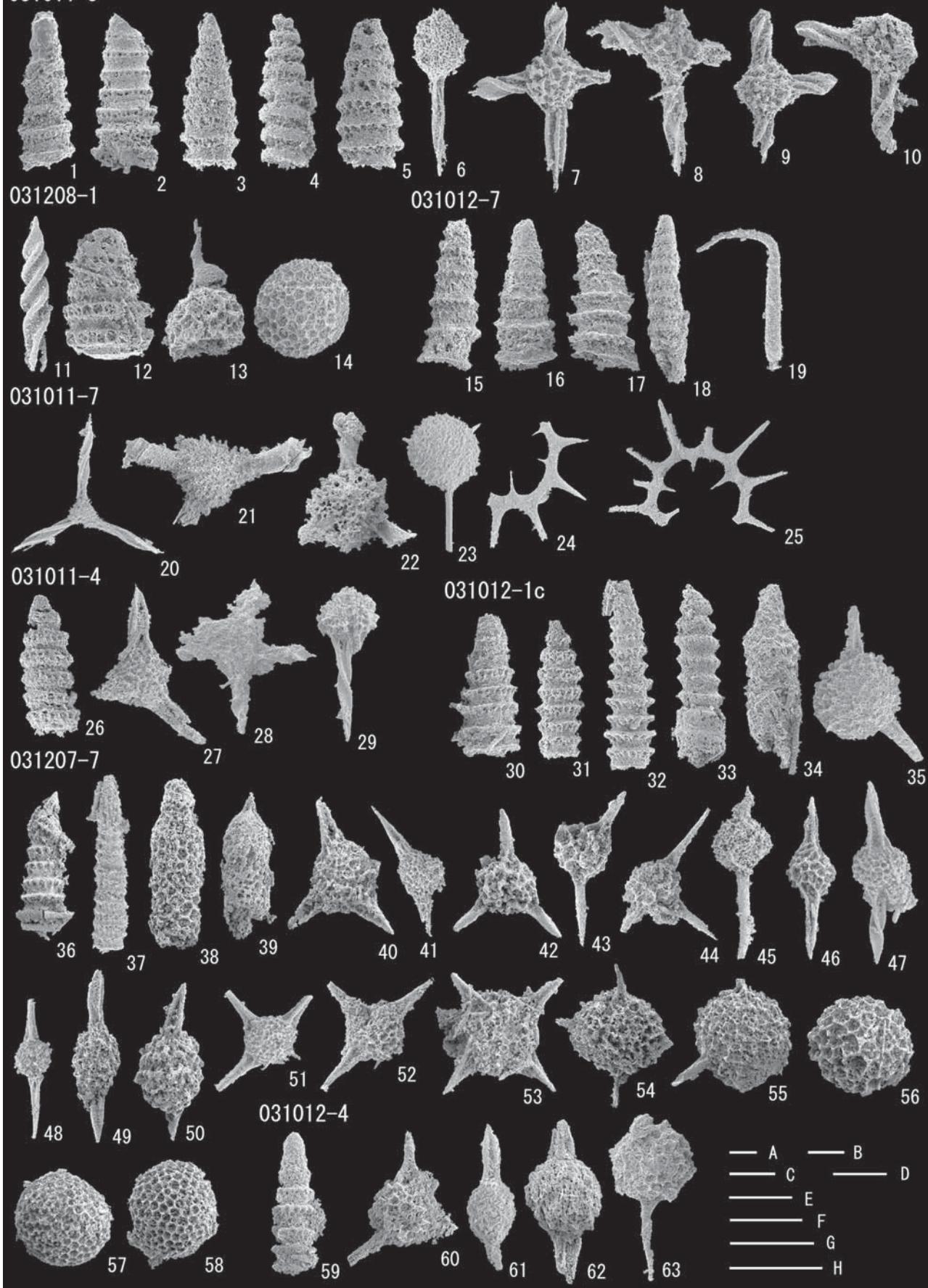


Plate 10

